

計画事業番号	00836	事務事業名	議会広報事業	担当部署	議会事務局	電話	5203
--------	-------	-------	--------	------	-------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市議会広報発行に関する条例			
事務事業開始年度	昭和58年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章)	快適な生活環境のまち
	(第 9 節)	情報公開・広報広聴の充実
	(施策 4 )	広報広聴活動の充実
2 対 象	市民及び市内の事業所、企業、学校	
3 目的と内容	定例会等での一般質問や代表質問の答弁及び各議案の審議の状況など、市議会の活動概要を広報紙及びインターネット中継で周知する。	
4 実施内容 (手 段)	2 8 年 度 ま で	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会だよりの発行(通巻1~136号) 議員による議会広報編集委員会を組織し、議員自ら編集を行っている。 議会だよりの発行 年4回 1回12ページ、24,000部印刷 印刷製本費 2,209千円 新聞折込等手数料 899千円</li> <li>議会中継の実施 インターネットを利用し、本会議及び予算審査及び決算審査特別委員会の中継を行っている。 議会中継インターネット接続料 83千円</li> <li>議会中継システム導入の検討～先進地視察(札幌市)</li> </ul>
	2 9 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会だよりの発行(通巻137~140号) 昨年と同様、議員による議会広報編集委員会を組織し、議員自ら編集を行う。 議会だよりの発行 年4回 1回12ページ、24,000部印刷 印刷製本費 2,209千円 新聞折込等手数料 899千円</li> <li>新議場映像音響システムによる議会中継の実施(新庁舎移転に併せ、議会中継システムも導入) インターネットを利用し、本会議及び予算審査及び決算審査特別委員会の中継を行う。 議会中継インターネット映像配信業務委託 年1,426千円</li> <li>議会中継システム導入の検討～先進地視察(札幌市)</li> </ul>

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
議会だよりの発行 議会中継の実施(本会議、 決算審査特別委員会、予 算審査特別委員会)	議会だよりの発行年4回(12 ページ) 1回につき24,000 部印刷 議会中継の実施(本会議、 決算審査特別委員会、予 算審査特別委員会)	議会だよりの発行 議会中継(新庁舎設備の 議場システムに対応し た、議会中継システムに よる議会中継に移行)	議会だよりの発行 議会中継システムによる 議会中継	議会だよりの発行 議会中継システムによる 議会中継

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。【2016推進計画にて拡大】	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。議会中継システム導入をHPや議会だよりに使って周知し、市議会の活動内容を知らせる手段としての活用を促進する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,158		5,254		5,337		5,337	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	3,158		5,254		5,337		5,337	
	① 合計	3,158		5,254		5,337		5,337		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			3,998		6,094		6,177		6,177	

**【評価指標】**

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 議会広報編集委員会開催回数	目標値	回	16	12	12	12
		実績値		12			
	② 発行回数	目標値	回	4	4	4	4
		実績値		4			
③ 発行部数	目標値	部	24000	24000	24000	24000	
	実績値		24000				
成果指標	④	目標値					
		実績値					
	①	目標値					
		【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値					
		【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値						
	【指標の定義(算式等)】	実績値					

**【評価項目】**

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	議会だよりは議員自らが主体となって編集を行っていることから、市議会の活動概要を周知するための有効な手段であり、妥当性は充分にあると考える。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	議会だよりは、新聞折込等による配付により市民への周知が確立しており、市内の医療機関、金融機関などへの配付も実施している。またインターネットによる議会中継によって審議状況等を発信している。以上のことから市民への周知方法としての成果はあがっている。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	議会中継システムの導入によって、録画配信及び映像の検索が可能となり、今まで以上に議案の審議状況などの周知が可能となる。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業に係る経費は議会だよりの印刷製本費、新聞折込手数料及び議会中継のインターネット接続経費であり、コスト削減の余地はないものとする。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--